

対馬新病院(仮称)新築工事安全祈願祭を終えて

いざりび



発行所
長崎県病院企業団
長崎県中対馬病院
〒817-0322
長崎県対馬市美津島町高知甲 1304-1
TEL0920-54-2024
FAX0920-54-4171

理念
私たちは地域に住む人々に
信頼と安心を提供できる
病院を目指します

平成 25 年 4 月 24 日 (水曜日) 11 時から長崎県病院企業団対馬地域新病院(仮称)新築工事安全祈願祭が新病院予定地の鶏知ナガイタで執り行われました。

米倉長崎県病院企業団企業長・財部対馬市長をはじめ、長崎県議会、長崎県病院企業団議会、対馬市議会、地元関係者、施工関連会社などから多数の方々に御参列をいただき、滞りなく終了いたしました。

病院本体建設工事は鹿島・梅村・早田特定建設工事企業が受け持つことに決定しています。

新病院建設工事は若干の遅れがありますが、平成 26 年度中開院を目標に進むこととなりました。

対馬市民の長年の願いでもありましたこの新病院は市民の皆様の健やかな生活を保障するためにいかに貢献できるかが今からの課題であります。



病院の建物がいかに立派でも病院の機能がしっかりしていなければ市民の皆様の健康を守ることができません。

市民の皆様には『新病院になって良かったね。』と言われるような環境作りが求められています。

そのためには、病院職員一人一人が『新病院で自分がすべきことは何なのか』を考えながら、自覚を持って行動していただきたいと考えています。

また、市民の皆様には新病院に愛情を持って、自分たちの病院を育てていくという気持ちでこれまで以上のご協力をお願いします。

院長 村瀬 邦彦



去る4月24日新病院敷地において、「新病院建築工事安全祈願祭」が、発注者である長崎県病院企業団、県、市、受注者など関係者約100名の参加のもと挙行されました。

いよいよ平成26年度内の開院を目指して工事が始まることとなります。

さて、新病院のハードとなる建設工事のスケジュールは、着々と進んでいくことが予想されます。

新病院建設関連会議として①「新病院建設推進管理会議」、②「新病院建設プロジェクト会議」、③「新病院情報システムプロジェクト会議」の活動も今後活発となります。

また、各部門の「WG」も実運用に向けて具体的な議論が必要であります。基本設計の時点では、各部署において平面図を基本とした議論の展開を繰り広げられたと思います。例えば病院建物が建ち始めて平面図が具現化された時、水回り設備（流し・手洗い・トイレ・浴室等）の設置箇所変更や追加の希望が出てくるかと思いますが、この時点では変更はもはや不可能とご理解ください。

5月～6月にかけて各WGの最終ヒアリングが実施される予定です。これが変

更の最後のチャンスとお考えください。

ソフトの中核となる病院情報システムの議論も、これから秋を目途に終盤を迎えることとなります。

今回の「安全祈願祭」は、新病院開院に向けて「スタート」を切った訳であります。「ゴール」は「新病院開院式」と想定されますが、「ゴール」目前の引越し作業、患者移送等はマラソンに例えるならば、将に「心臓破りの坂」とも言えそうです。

我々病院職員としては、「ゴール」は通過点として捉え、新病院の運営を軌道に乗せてこそ真の「ゴール」が見えてくるのではないのでしょうか。

最後になりましたが、施工業者関係各位の無事故での施工を切にお祈り申し上げます。

事務長

熊中 健二





蒔初めの儀
鋤取りの儀

穿初めの儀
杭打ちの儀



